

## ●第14回臨床解剖研究会のご案内

会 期：2010年9月11日（土）

会 場：ホテル金沢（〒920-0849 金沢市堀川新町1番1号）

当番世話人：松 井 修 教授（金沢大学大学院医学系研究科経血管診療学〔放射線医学〕）

演 題 募 集：応募要項は追ってお知らせいたします。

当番事務局・問合せ先：第14回臨床解剖研究会事務局

〒920-8641 金沢市宝町13番1号 金沢大学大学院医学系研究科経血管診療学

TEL：076-65-2323 FAX：076-234-4256

\* \* \*

## ●編集後記

臨床解剖研究会記録 No. 10 をお届けいたします。発行に当たってお世話になりました方々に厚く御礼申し上げます。本号は、昨年9月に東京医科大学にて行われた第13回臨床解剖研究会の記録です。当番世話人の伊藤正裕教授、実行委員長の宮木孝昌准教授、並びに教室の皆様のご尽力により、多数の方々にご参加いただくことができました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

1993年にヴェサリウスの『人体構造論』（ファブリカ）出版450年を記念して行われた小集会を核として1997年に創立された本会も、年次学術集会を13回重ねるに至りました。毎回充実した発表がなされ、解剖と臨床両サイドの討議も白熱し、互いに裨益するところが多く、出席するのが楽しい会に成長したと思います。この報告集を年次順に並べて通覧してみると、鏡視下手術、画像診断等の驚くべき進歩の影響を受けて臨床解剖学のカバーすべき範囲も拡大かつ深化していることが実感されます。

なお本研究会の創立者の一人であり、会の発展に多大の貢献をなされた高橋 孝先生が昨年春に逝去されました。先生は、合理的手術術式開発の基盤としての解剖学を厳しく追求された真の臨床解剖学者であり、研究会の精神的バックボーンの役割を十二分に果たされました。ここに謹んで哀悼の意を表します。また高橋先生とともに創立にあられた先生方も定年を迎えられることが少なくなく、否応なしに世代交代の時期を迎えようとしております。そこで、このたび将来構想検討委員会（竜 崇正先生、寺本龍生先生、大谷 修先生、光嶋 勲先生、衣袋健司先生）を組織し、ここ2、3年で新しい革袋を用意し、若手による開拓精神とベテランを活用した文化伝承が両立する会が存続成長するよう検討していただくことといたしましたので、ご期待ください。

春の兆しを感じられますが、残寒の折ご自愛をお祈りいたします。

（会長 佐藤達夫）

---

臨床解剖研究会記録 No. 10 2010年2月発行

編集・発行 臨床解剖研究会

東京医科歯科大学臨床解剖学

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

TEL 03-5803-5145 FAX 03-5803-0116

<http://www.jrsca.jp/>

印刷・製本 小宮山印刷工業株式会社

---